

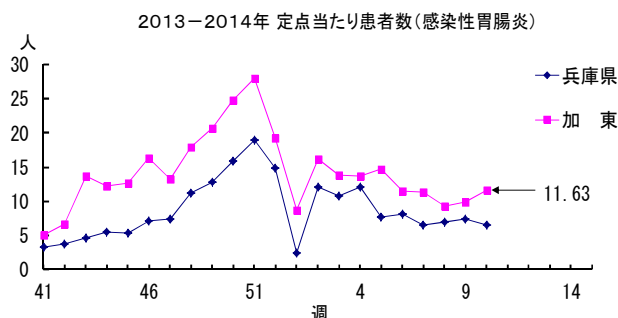
感染性胃腸炎にご注意！

(平成 26 年 3 月 14 日作成)

感染性胃腸炎が流行しています！！

北播磨地域の定点当たり感染性胃腸炎患者数は、昨年第 51 週(12 月 16 日～12 月 22 日)に 28.00 人(県 19.02 人)とピークとなりそれ以降減少に転じました。しかし、今年に入って再び増加し、10.0 人前後の患者数で推移、第 10 週(3 月 3 日～3 月 9 日)は加東 11.63 人(県 6.55 人)でした。

警報レベルは脱したとはいえ、県レベルより患者数の多い状態が続いており、引き続き感染性胃腸炎の予防対策を徹底する必要があります。



感染性胃腸炎とは？

感染性胃腸炎は、ノロウイルス、ロタウイルスなどを病原体とする感染症です。年齢に関係なく、乳幼児から大人まで、感染、発症します。例年、初冬から12月頃に一度ピークができた後、春にも小さい流行が続き初夏頃まで続きます。

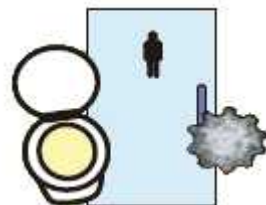
初冬期にはノロウイルスによる感染性胃腸炎の流行が見られます。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎の症状は？

症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛などがあります。感染してから症状が出るまでは、24～48時間かかります。症状は発症後24～48時間で軽快しますが、感染力が強く症状がなくなった後も2～3週間程度はウイルスが便中から検出されるため、特に二次感染に注意が必要です。

感染経路は？

病原体に汚染された食品を生あるいは十分に加熱しないで喫食した場合や感染した人の糞便や吐物などから便座、蛇口、ドアノブ、手などを介して感染します。



予防のポイント

- ①手洗いを徹底しましょう(外出から帰ったとき、トイレの後、食事の前には必ず液体石けん等を使って洗い、ペーパータオルで手をふきましょう。ペーパータオルがない場合は清潔なタオル、ハンカチを個人専用にしきましょう。)
- ②食品は十分加熱してください。また、調理器具は煮沸消毒して下さい。
- ③ふん便や嘔吐物を処理する時は使い捨ての手袋、マスク、エプロンを使いましょう。特にトイレ、水道のカラン、ドアノブ等、人がよく触る汚染されやすい場所は毎日消毒してください。
- ④消毒に使う薬品は、次亜塩素酸ナトリウム溶液(家庭用塩素系漂白剤等)を使用してください。
- ⑤有症状時は、シャワーか最後に入浴をしましょう。また、入浴後は浴槽を次亜塩素酸ナトリウム溶液で消毒してください。

(参考)

厚生労働省ホームページ「ノロウイルスに関するQ&A」

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>

